

第3章 生活環境衛生と公害	1	不快指数	0.72(td乾球温度+tw湿球温度)+40.6 70>不快 75>半数以上不快 80>非常に不快... +5?			
	2	冷房病対策	室温25 以上、外気温度差5 以内、10cm/secの気流			
	3	人口照明照度基準	教室内200 -750lx、講堂75 -300lx、製図室300 -1500lx			
	4	熱伝導度	空気1>毛6>絹19>木綿&麻29			
	5	水質基準	大腸菌群:検出されないこと			
	6	水系伝染病	消化器系:コレラ、赤痢、腸チフス、パラチフス 急性灰白髄炎:ワイル病、泉熱、回虫症、鉤虫症、日本充血吸虫症 ミルス・ラインケ現象1893米国			
	7	浄水法	普通沈殿・薬品沈殿 砂、ジャリ、小石によるろ過 消毒			
	8	水の消毒	液体塩素消毒[給水栓における水が遊離残留塩素0.1ppm以上保持]漂白粉消毒[加-ル加、さらし粉、加-ル石灰]他にカタジン法等。			
	9	普及率	上水道 9 6 %	下水道 5 5 %		
	9	下水の水質試験	物理的試験 温度・透明度・色相、色度、臭気	化学的試験 pH値、アルカリ度、酸度、蒸発残留物、浮遊物質	細菌学的試験 溶存酸素、生物化学的酸素要求量、化学的酸素要求量	
	10	下水の処理	[活性汚泥法] 流入下水 スクリーン 沈砂槽 沈殿槽 曝気槽 沈澄槽 放流 * 消毒がない			
	11	ごみ処理	焼却74.3%、埋立14.3%			
	12	土の温度	100mに0.5ずつ、深い地層では33mに1 の割合で上昇			
	13	四大公害裁判	熊本水俣病、新潟水俣病、四日市喘息、イタイイタイ病			
	15	大気汚染物質 人為的排出量寄与率 /人為排出源、自然発生源/環境基準/健康影響	イオウ酸化物Sox 99% 窒素酸化物No x 10% 一酸化炭素 CO 95% 光化学オゾンOx 95% 浮遊粒子状物質SPM 15%	工業・発電所/火山 0.04ppm 自動車/土壤微生物 0.04 -0.06% 自動車/山火事 10ppm 二次汚染物質 0.06ppm 工業・自動車/火山・山火事・砂0.10(mg/m3)	気管支喘息・気管支炎 肺気腫、オゾン の原料 頭痛・もの忘れ 眼・呼吸器などの刺激症状、めまい等 地上に落下、慢性気管支炎等	
	16	水質汚濁	シアン アルキル水銀 PCB カドミウム 鉛 六価クロム ヒ素	メッキ工場 水俣病原因物質 生物濃縮される イタイイタイ病 飲み水、土壌 野菜 井戸水 嘔吐、腹痛、下痢他	検出されないこと 検出されないこと 検出されないこと 0.01ppm/ l 以下 0.01ppm/ l 以下 0.05mg/l以下 0.01ppm/ l 以下	
	17	騒音	深夜 20 -30dB	通常会話 55 -65dB	道路際 65 -75dB ガード下80 -90dB	
	第4章 産業保健	18	職業病	じん肺 鉱内などで粉塵を吸入し肺組織に結節ができる 進行すると息切れ、せき・たんがひどくなる	頸肩腕障害 手・指・腕を反復して使う作業を続けるときに起きる VDT作業など	局所振動障害 チェーンなど手持ちの振動工具の強い振動による血行障害。手指が発作的に蒼白になり痺れや痛みのある病気
	記述問題	19	自然環境に散布された有害物質が食物として口に入る経路及びその危険性についてキーワードを入れて記す	食物連鎖・濃縮		